組織階層アドレス帳展開ガイド 2021/1/6

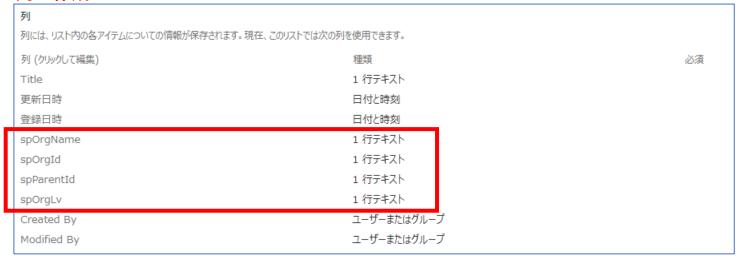
SharePoint リストの作成

作成する2つのリスト

リスト名	用途	詳細
ListOrg	組織マスタ	組織階層を構成するためのデータ
ListEmp	社員マスタ	社員データはPower AppsのOffice365コネクタ(Graph API)からほとんど取得するが、社員がListOrgのどこの組織IDに所属しているのかを紐づけるために必要

ListOrg:組織階層のデータ

列の作成

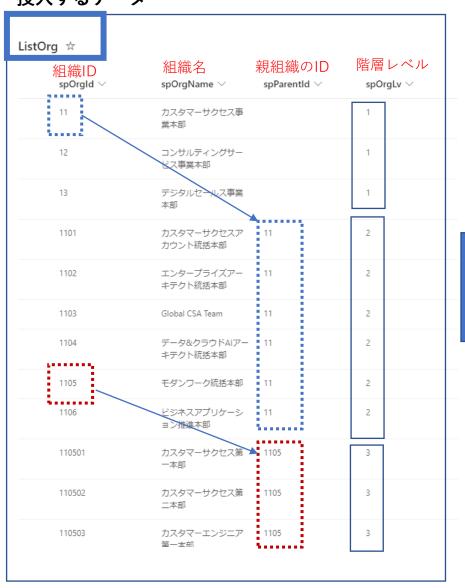


ビュー



ListOrg:組織階層のデータの投入

投入するデータ



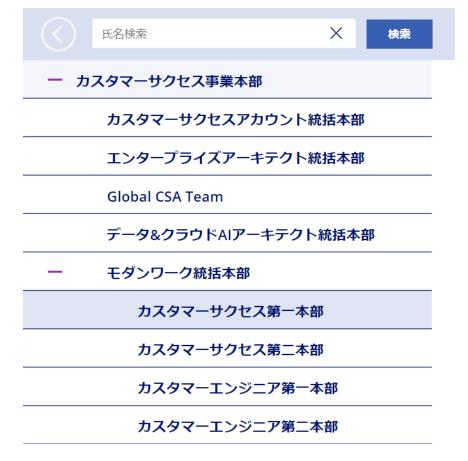
spOrgld:組織ID (ユニークなID)

spOrgName:組織名

spParentId:一階層上の親組織ID

spOrgLv: 階層順に1、2、3、4 (このアプリでは4階層まで対応)

アプリ画面



ListEmp:社員のデータ

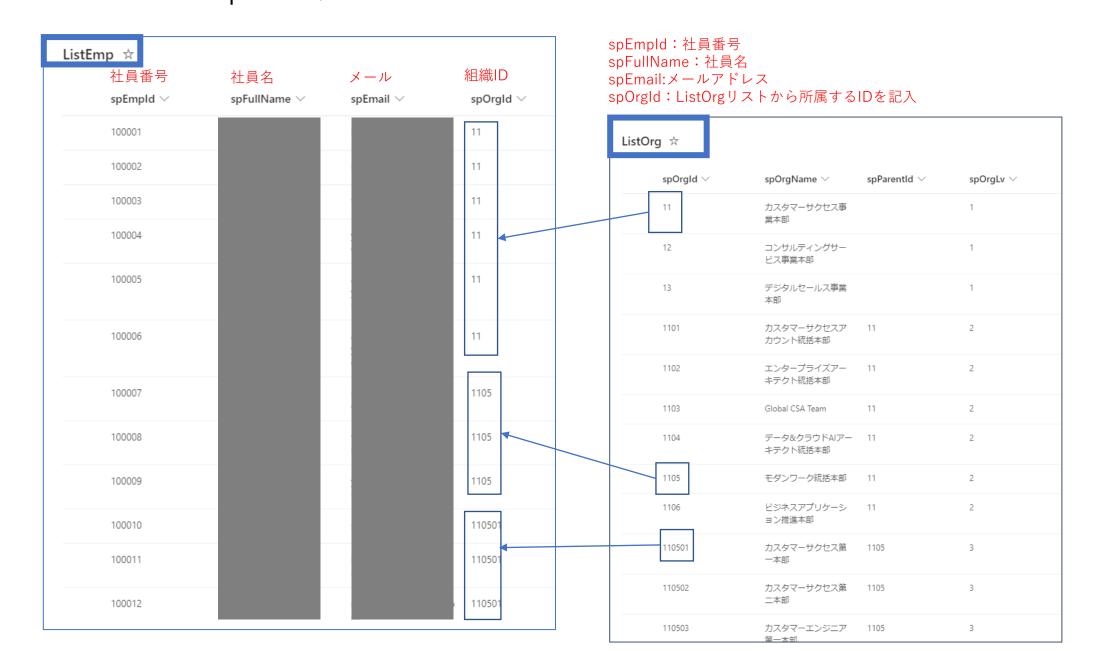
列の作成

列 列には、リスト内の各アイテムについての情報が保存されます。 現	現在、このリストでは次の列を使用できます。
列 (クリックして編集)	種類
Title	1 行テキスト
更新曰時	日付と時刻
登録日時	日付と時刻
spEmpId	1 行テキスト
spFullName	1 行テキスト
spEmail	1 行テキスト
spOrgId	1 行テキスト
Created By	ユーザーまたはグループ
Modified By	ユーザーまたはグループ

ビュー

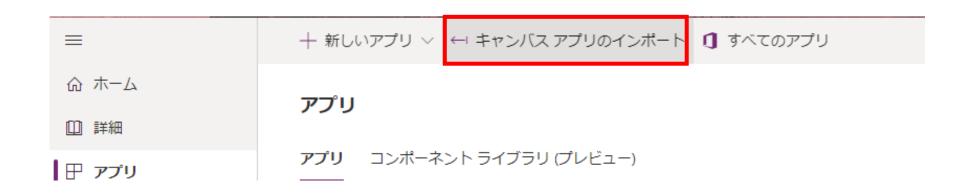


ListEmp: 社員のデータの投入



組織階層アドレス帳アプリパッケージのインポート

パッケージファイルの選択





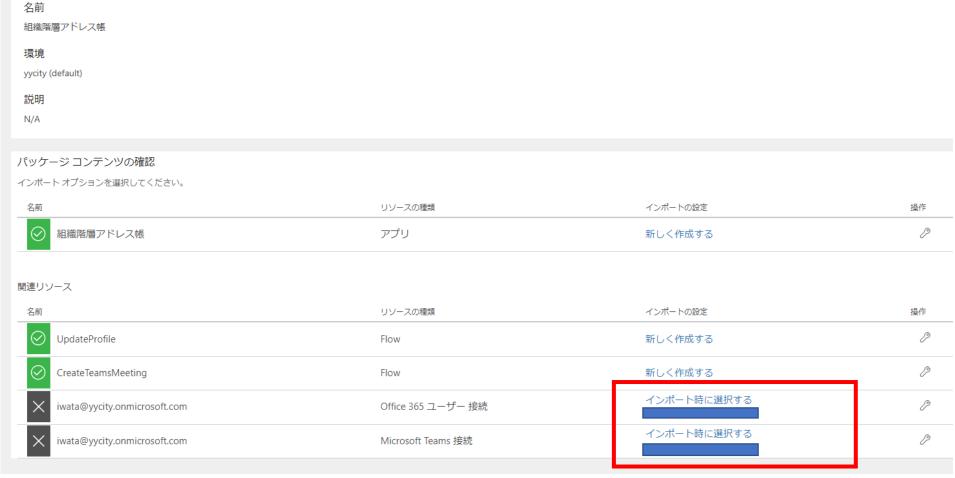
組織階層アドレス帳_2022XXXXX.zipを選択

インポートするパッケージファイルの選択 組織階層アドレス帳_20220104011343.zip

パッケージのインポート

パッケージのインポート

ソリューション外で作成されたキャンバス アプリをこの環境にインポートします。ソリューションで作成されたアプリは、[ソリューション] でインポートできます。 詳細情報



自分のアドレスに変更

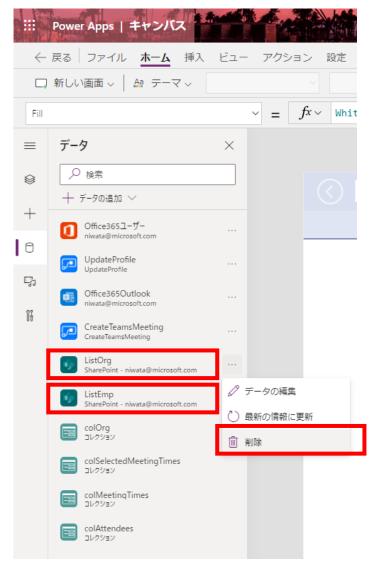
Power Appsの設定

インポートされたアプリを編集する

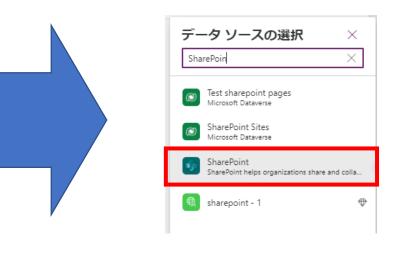


SharePointリスト自組織の接続先に変更

ListOrgとListEmpを削除

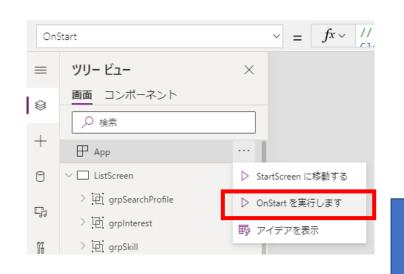


作成しておいた自組織の ListOrgとListEmpに接続

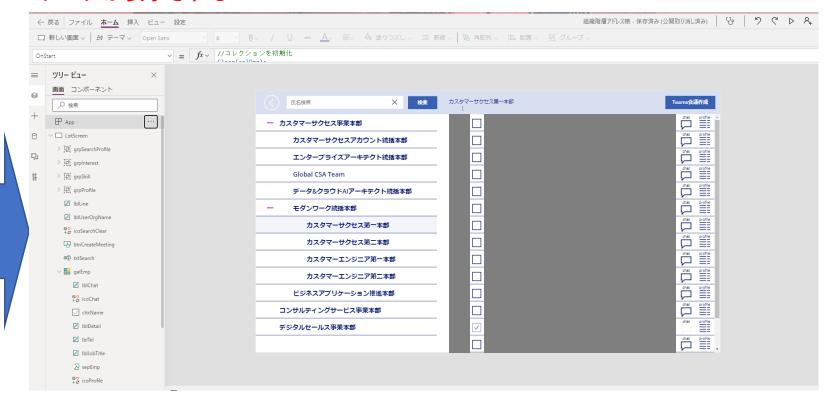




アプリのOnStartを実行する



データが表示される

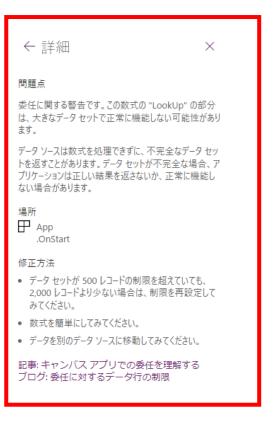


アプリにエラーが出ていないかを確認



- OnStart関数で委任に関する警告が出ている
- LookUpをネストして使っている組織階層を構成するための処理の箇所だが、ListOrgリストは500レコード以上ない前提で、このエラーは無視する(改善の余地あり)





アプリを保存して公開する

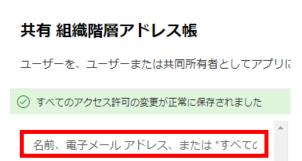




アプリを共有する



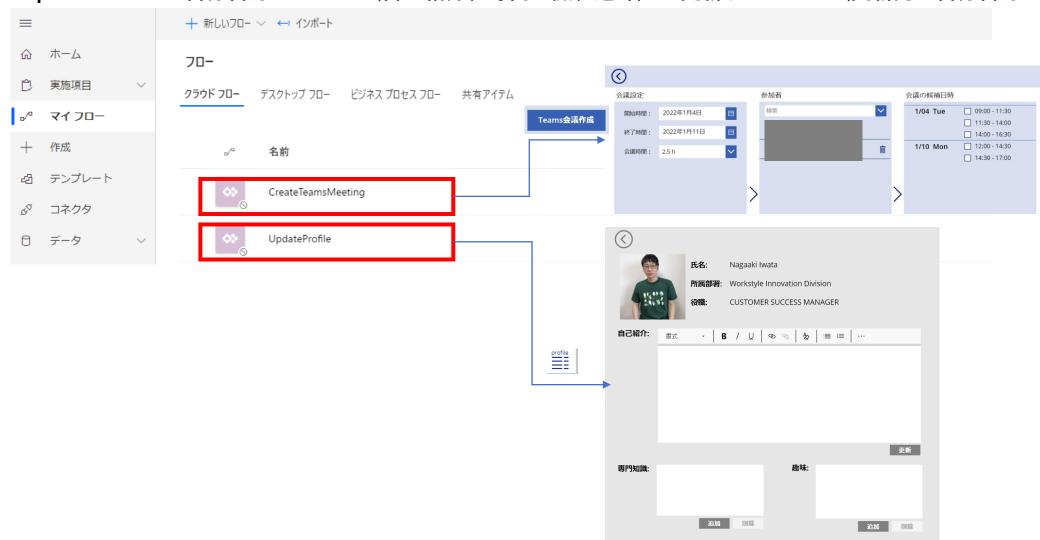
アプリを利用するユーザーやグループにアクセス権を与える



Power Automateの設定

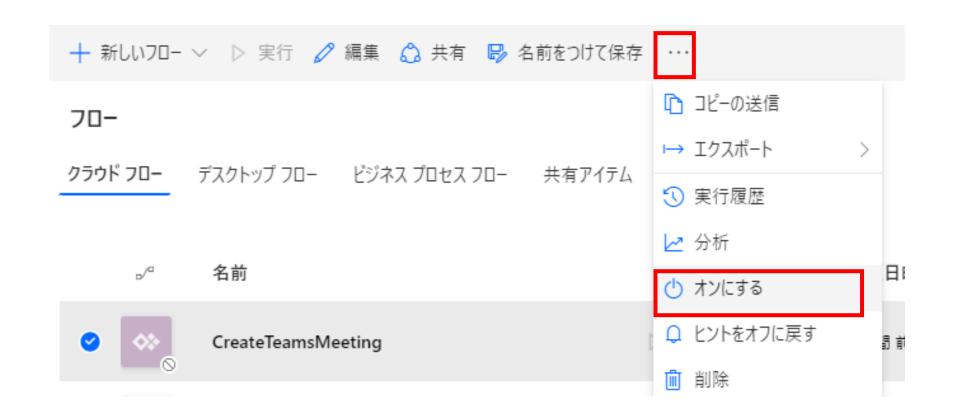
アプリ内で呼び出されるフロー

- CreateTeamsMeeting:選択したユーザーとのTeams会議作成フロー
- UpdateProfile:自分自身のProfile(自己紹介、専門知識、趣味)を更新するフロー(更新先は自分自身のDelve)



フローをオンにする

CreateTeamsMeetingとUpdateProfileそれぞれ、編集ボタンを押し、[…]からオンにする



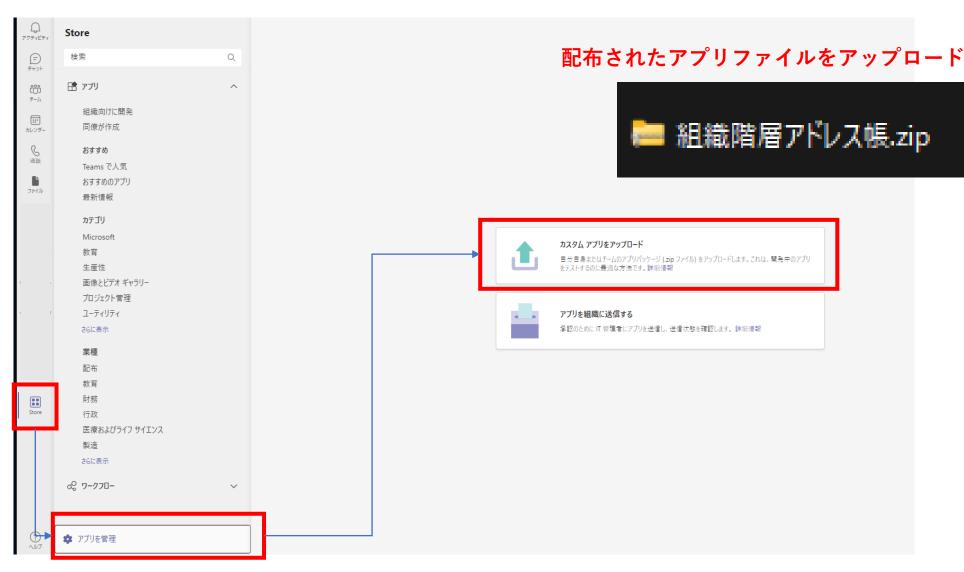
組織階層アドレス帳 社内で展開するアプリパッケージの作成

Teamsに追加するアプリとしてエクスポートする





各ユーザーのアプリ追加方法(1/2)



※ここでは各ユーザーが配布されたアプリファイルを個別にアップロードする手順を示していますが、管理者が強制的にユーザーに配布したり、社内のアプリストアにアップして、ユーザーはストアからインストールする手法もあります。

各ユーザーのアプリ追加方法 (2/2)

Я

組織階層アドレス帳

 \times

追加

情報

アクセス許可

組織階層アドレス帳 is an app built using Power Apps.

組織階層アドレス帳 is an app built using Power Apps.

タブ

チャットまたはチャネルの上部にあるタブで使用します

個人用アプリ

重要なコンテンツと情報を追跡します

会議

豊かな対話型の会議体験を作成します

作成者: PowerApps バージョン 1.0.0

アクセス許可

このアプリには次のアクセス許可が与えられます:

- 提供されたメッセージとデータの受信
- 自分の名前、メール アドレス、会社名、および表示言語などのプロファイル情報にアクセスします。
- チャネル、チャットまたは会議内でチームまたはチャットメンバーが提供するメッセージおよびデータを受信します。
- チーム、チャット名または会議名、チャネルリスト、参加者一覧(チームまたはチャットのメンバーの名前とメールアドレスを含む)など、このチーム、チャット、会議からの情報にアクセスして、チームと連絡を取ります。

組織階層アドレス帳を使用すると、プライバシーポリシーと使用条件に同意したことになります。

完成

